

2014年度 事業計画

(2014.4.1～2015.3.31)

I 公益目的事業

事業1 家族福祉相談室

1 理念

健康で幸せな人生には「身体的」「精神的」「社会的」「霊的」な健全さが満たされる必要があります。

- ・「家族福祉相談室」は生きづらさ、苦しみを負っている方々をわたしたちの家族、兄弟姉妹として迎え、その困難や苦しみをともに担い、寄り添うことを目指します。
- ・その方が本来持っている「生きる力」を回復し、自分らしく生きることができるよう共に歩みます。

2 目標

個別相談活動の充実

一人ひとりの相談者に誠実に向き合い、その方の主体性が尊重される関わりを心がける。相談者が抱える問題は多岐にわたり、かつ複雑な背景がある為、一つひとつの課題を共に整理しながら、課題に取り組む勇気、力を育む。

(開所日とスタッフ編成)

開所日と時間 月～土曜日（祝日を除く） 10：00～16：00

活動形態 来所および訪問

スタッフ構成 受付ボランティア 若干名、

インテーク及びコーディネーションボランティアスタッフ 10名

活動ボランティア 約 100名

職員 1名

(活動内容)

相談活動 こころの問題、人間関係、進路人生など

生活支援活動 障がい者、子育て、高齢者ほか支援を必要とされる方々への具体的な支援（話し相手、家事援助、通院、療育施設等への送迎、車椅子介助、ガイドボランティア、母子療育中の兄弟の世話等）

グループ活動の充実 フリースペースの運営

14年度より、参加要件により名称を分けていた「さくら会」は、「ひまわり」とその活動を統合し、「フリースペースひまわり」として毎木曜日の開所に変更します。

さまざまな理由で社会参加が困難な方、地域の作業所、デイケア等の利用が難しい方々が安心して集い、仲間に出会い、それぞれが自分の居場所となるような場作りをめざす。

- ・互いに支え合う自助、共助の心を育て生活の幅を広げる。
- ・定期的な通所により生活リズムを整える。

- ・ 親しい交わりをとおして互いの信頼を深める。
- ・ 健康に配慮した献立を考え、共に調理し食卓を囲み健康増進をはかる。

(開所日)

毎木曜日 10:00～15:00

(賛助会活動への参加)

仲間と共にする軽作業を通して社会参加の喜び、経験を豊かにする。

(ボランティアの初期養成)

グループ活動体験を通して相談者と親しく触れあい、ボランティア仲間と協働することで、ボランティアとしての成長をはかると共に、活動全般への理解を深める。

3 課題

活動ボランティアの確保。広報（ホームページ等）の充実。

4 行事

クリスマス会（カリタスパティー）12月

5 研修

基本理念、霊性について学ぶ。

相談者への理解と適切な対応について学ぶ。

民間相談機関連絡協議会主催の各種研修会を活用する。

ボランティア養成講座、スーパービジョン、その他の研修プログラムを活用する。

事業2 放課後等デイサービス カリタス翼

1 目標

- ・ 1日の平均利用を10名とするため、1日最大12名の利用者を受け入れる体制にする。
- ・ 放課後等デイサービスの質の向上を目指し、職員の専門性を高め、現場での対応力を上げる。
- ・ 夏休み等、学校の長期休業期間中のサービス提供開始時間を午前中からとすることで、利用者にとって活動の時間を充実させ、生活の質を向上させる。
- ・ カトリック本郷教会の協力を得ながら、ボランティアが利用者と触れ合える機会を増やすことや、ホームページ等広報を充実させることで、地域における障がい理解の普及を目指す。
- ・ 個人情報等を安全に管理しつつ業務を効率的に運営していくために、IT環境を整備する。

2 活動計画

対象	発達につまずきや遅れのある小学校1年生から高校3年生まで
場所	東京都文京区本駒込5-4-3 カトリック本郷教会信徒会館4階
定員	1日10名
開所日・時間	月～金曜日 11:30～19:30（長期休業期間中 9:00～18:00）
サービス提供時間	14:30～18:30（長期休業期間中 10:00～17:00）
行事予定	夏合宿：8月8日（金）～8月10日（日） 修了式：3月第2週予定

事業3 地域活動支援センターみんなの部屋

1 基礎的事業：事業内容とその目的

(創作的活動・生産的活動・自主製品の製作)

カード（グリーティング・クリスマス・イースターなど）や手芸品の製作

- ・作業を通して集中力を高める。 ・作業を自己表現の一場面とする。
- ・工賃収入を得る。 ・共同作業を通してコミュニケーション能力を高める。

活動日：週4日（月～水、土曜日）

(自主活動支援)

聖書講座：人間的、霊的成長を高める。月2回 施設長（司祭）指導による。

(文化活動支援)

コーラスサークル：皆と共に歌う喜びを味わう。月1回 ボランティア講師指導による。

(地域交流活動)

バザーの開催：地域への当施設の活動紹介、地域住民との交流の場として

2 機能強化事業：事業内容とその目的

(生活支援活動)

病院連絡、通院同行、服薬管理、公的書類作成の助言

- ・症状悪化時や悪化防止のための支援を行う。随時

(健康増進活動)

栄養、調理指導、昼食会の実施

- ・健康維持、メンバー間の交流、日常生活の質的向上を目指す。月4回 金曜日午前

(地域への精神保健福祉啓発事業)

ボランティアの育成

- ・当施設の活動紹介 東京カリタスの家ボランティア養成講座の参加（年6回）
- ・精神障害に関する啓蒙活動 みんなの部屋内でのボランティア講座の実施（年3～4回）
- ・ボランティア活動支援 みんなの部屋内でのボランティア活動支援（月～水、土曜日）

(精神保健福祉活動促進事業)

- ・当施設の紹介、精神障害に関する啓蒙活動、各教会内での人的交流
年数回の各教会訪問および定期的に行われる各教会バザーへの参加

3 一般相談支援事業：事業内容とその目的

精神保健福祉相談：電話、面接による外部からの相談受付（月～水、金、土曜日）

4 地域生活安定化支援事業：事業内容とその目的

治療継続や見守り支援を行う

自宅訪問、医療関係者等との話し合い、支援計画の立案、受診支援等、保健師と連携して随時実施

5 利用者人数見込み

2400 人（電話相談も含む）

6 新計画

（作業環境の向上）

- ・ 旧子ども相談室スペースを改築し、調理・食事の場と作業場を分けて設置する。

（新たな発展と可能性の模索）

- ・ 作業内容をより充実させる為、メンバーの意見を参考にビーズ細工、粘土細工などの講習会を企画する。
- ・ 新しいキッチン設備を活用し、調理技術を向上させることで、今後の活動範囲を拡大する可能性を強化する。
- ・ 東京カリタスの家の一員として、東京カリタスの家／賛助会を知ってもらえるよう広報活動に参加する。具体的には、ホームページの充実、作品販売と共に法人を知ってもらうよう PR を行う。
- ・ カテドラル構内で活動している特色を生かし、地域の方が教会に足を運びやすくなるような活動を行う。具体的には、教会案内などの小冊子の作成、売店でのディスプレイの工夫など。

（長期展望）

- ・ 長期展望を持って新しい就労支援の可能性を探る。
- ・ 放課後等デイサービスカリタス翼との協働のあり方を探る。

事業4 ボランティア開発養成

1 理念

一人一人のボランティアが「苦しみの中にいる人の隣人となるように招かれている」ことを原点にしたボランティアの心を大切にする。

2 目標

よりよい援助活動を模索しボランティアの養成、研修プログラムを行い、ボランティア相互の交流をも深める運動体の発展をめざす。

3 ボランティア活動の充実化への取り組み

（活動先）

家族福祉相談室、地域活動支援センターみんなの部屋、放課後等デイサービスカリタス翼、ボランティア養成、賛助会等。

（ボランティアの育成と学習活動）

- ・ ボランティア養成講座 テーマ「家族」 期間 5月～11月（全6回）
- ・ ボランティアの初期養成として「フリースペース」の場を活用する
- ・ スーパーバイザーによる学習会を行う
人との関わりをとおして自己を知る・心の病について学ぶ。ソーシャルワークについて学ぶ。

(スーパービジョンの活用)

精神科医師、心理、福祉の専門家によるグループスーパービジョン、個別スーパービジョンの機会を持つ。

(人間的、靈的成長)

東京カリタスの家の祈り、東京カリタスの家ミサ、東京カリタスの家の心を深めるつどい、聖書講座等への参加、実践をとおして人間的な成長をはかる。

(ボランティア相互の交流)

ボランティア交流会、なでしこの会等の企画・実施。

4 ニーズの開拓

東京カリタスの家ニュース、お知らせ、ホームページ、カトリック教区ニュース、教会訪問キャラバン他、広報活動をとおしてニーズの開拓をはかる。

ボランティアアンケートを実施する。(3月)

5 課題

スタッフの充実化(職員、専任ボランティアスタッフ)

II 法人管理

事務局

1 総務

「公益財団法人」としての内実を整えるため、引き続き、管理体制の整備を行う。
事務局の体制強化を図る為、委託可能な業務のアウトソーシング化を進める。
施設機能の見直し、整理と整備、設備の充実を図る。

2 財政・経理

「地域活動支援センターみんなの部屋」「放課後等デイサービスカリタス翼」は公的な補助金が得られ、経営的に安定してきているが、その他の事業および法人運営に係る費用は寄附金や賛助会費等が財政基盤となっている。しかし不透明な社会状況の中で、大幅な収入増は見込めない為、引き続き支援の呼びかけと受け入れ態勢の整備を進め、外部助成金の申請・活用に努め、支出の見直しと抑制を図る。

3 広報

年3回「カリタス・ニュース」を発行、パンフレットの作成、ホームページの充実を図る。
東京教区ニュース、カトリック新聞など外部メディアも積極的に利用する。

4 人事・職員体制

【職員体制】

常務理事	常勤1名（各部門施設長兼務）
事務局	事務局長代行1名 パート職員1名
家族福祉相談室	職員1名（開発養成兼務）
ボランティア開発養成	パート職員1名（新規採用予定）
放課後等デイサービスカリタス翼	職員3名（内1名育児時短勤務） 契約職員1名 パート職員2名
地域活動支援センターみんなの部屋	職員3名 パート職員1名

賛助会

（会員の増強）

前年度に引続き次項の活動等をとおして会員の増強と会費収入の増額に努める。

（支援基盤の増強）

法人の精神性と活動の普及と支援者の増強を目的として、賛助会総会、バスハイク、聖書勉強会、チャリティーコンサート、バザー等を企画・実施する。

（支援活動）

賛助会会員、法人の目的及び事業に賛同する個人や団体のボランティア及び、寄附・支援者等による法人支援活動を行う。